

平成23年度  
(第2期事業年度)

# 決算報告書



自 平成23年 4月 1日  
至 平成24年 3月 31日

公立大学法人愛媛県立医療技術大学

平成23年度 決算報告書

公立大学法人愛媛県立医療技術大学

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金収入	669,541,000	631,332,000	△ 38,209,000	(注1)
自己収入	220,049,000	227,830,910	7,781,910	
入学金及び授業料等収入	216,295,000	218,642,400	2,347,400	(注2)
雑収入	3,754,000	9,188,510	5,434,510	(注3)
受託研究等収入	6,101,000	7,697,408	1,596,408	(注4)
計	895,691,000	866,860,318	△ 28,830,682	
支出				
教育研究費	65,794,000	71,400,601	5,606,601	(注5)
人件費	718,735,000	609,467,004	△ 109,267,996	(注6)
管理費	105,061,000	110,415,427	5,354,427	(注7)
受託研究等経費	6,101,000	4,256,574	△ 1,844,426	
計	895,691,000	795,539,606	△ 100,151,394	

○ 本表は当法人の年度計画における当初予算に対する決算の状況を表示しております。したがって、財務諸表とは科目表示が異なり、各科目での算定条件も異なっております。

○ 予算と決算の差異について(主な原因)

(注1) 退職者が見込みより少なかったため、特別分の交付額が減少しました。

(注2) 在学者が見込みより多かったため、授業料収入が増加しました。

(注3) 県からの補助金(医療機器等整備)の受入れにより収入が増加しました。

(注4) 新たな共同研究費の受入れにより収入が増加しました。

(注5) 研究費の増額に伴い、教員の研究活動が活発化したため経費が増加しました。

(注6) 退職者が見込みより少なかったこと及び常勤教員の定数不足分を実習補助者等で対応したため人件費が減少しました。

(注7) 損害保険料や広報関係費の縮減に努めましたが、県の補助金を活用して医療機器等の整備を図ったため支出が増加しました。